

令和元年度の決算状況

(1) 総括事項

水道事業では、安心・安全な水を安定的にお届けすることが最も大切な役割です。

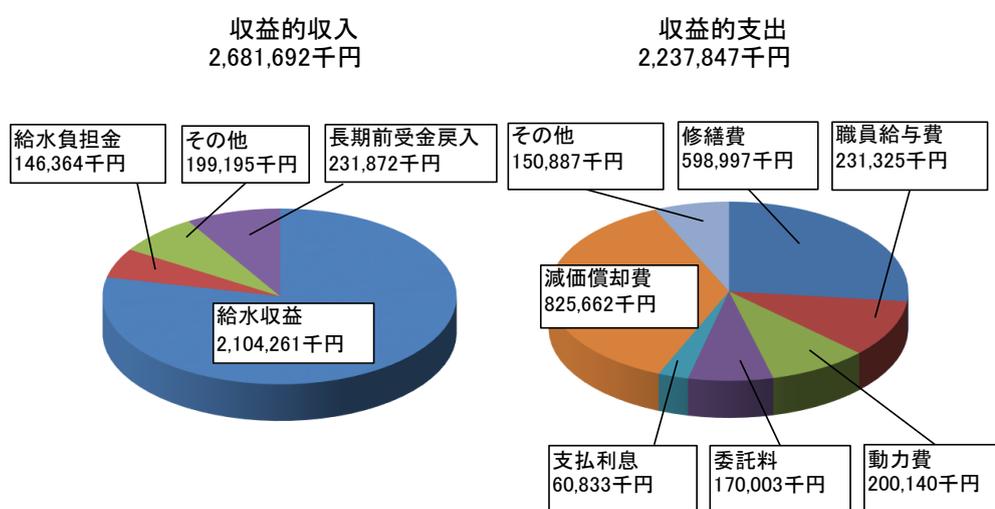
令和元年度は、西市場水源地No.5,8,9取水ポンプ場電気計装設備更新工事、上中屋町地内配水管耐震化工事など、計画的に設備及び管路の更新・耐震化を推し進めるとともに、下水道工事などに関連した水道管支障移転工事を事業者との協議により施工しました。

収益的収支では、令和元年度の水道事業収益は26億8,169万2千円となり、平成30年度と比べて1億2,141万5千円の増加となりました。これは、給水負担金、長期前受金戻入などが増加したことなどによるものです。

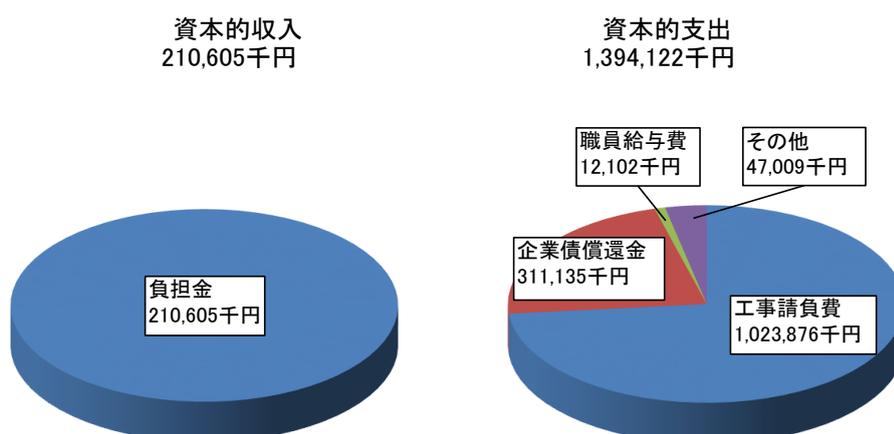
また、水道事業費用は22億3,784万7千円となり、平成30年度と比べて2億3,717万4千円の増加となりました。これは、修繕費や資産減耗費、職員給与費が増加したことなどによるものです。

この結果、当年度純利益は4億4,384万5千円となりました。このうち処分可能な2億1千万円は減債積立金として、翌年度の企業債償還金の財源に充てることにしています。

(2) 収益的収入及び支出の内訳(消費税抜き)



(3) 資本的収入及び支出の内訳(消費税込み)



資本的収支不足額の11億8,351万7千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額7,175万1千円、減債積立金3億1,000万円、建設改良積立金2,000万円、過年度分損益勘定留保資金7億8,176万6千円で補てんしました。